

○日南・串間地区大規模氾濫減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表

■取組方針フォローアップ【日南・串間地区】

1. 円滑かつ迅速な避難のための取組

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

R1 : 70 / 74

(2) 主な取組内容[R1]

- ① 情報伝達、避難計画等に関する取組
 - 協議会で作成したタイムライン、ホットラインの活用
 - 宮崎地方気象台から洪水警報の危険度分布に関する情報提供
- ② 住民の防災意識の向上に関する取組
 - 県管理河川の対象河川全35河川の想定最大規模洪水浸水想定区域図を公表(県)
 - 洪水・土砂災害ハザードマップの改定等(日南市、串間市、宮崎県)
- ③ 地域の防災を担う人材の発掘・育成
 - 防災士養成講座や防災士養成研修の実施
- ④ 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組
 - 監視カメラの設置
 - 自治公民館など避難所の備蓄資材強化
 - 福祉避難所との協定締結(日南市、串間市)
 - 要配慮者の利用を想定した車椅子・簡易ベッドを避難所に設置(串間市)

2. 的確な防災活動のための取組

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

R1 : 16 / 21

(2) 主な取組内容 R1

- ① 防災体制の強化に関する取組
 - 水防訓練の実施(日南市、串間市、宮崎県)
- ② 災害時に拠点となる施設の自衛防災
 - BCPや災害事業に応じた各種防災対策計画の策定(日南市)

3. 被害の軽減・早期復旧に関する取組

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

R1 : 20 / 26

(2) 主な取組内容[H29]

- ① 被害軽減の取組
 - 土砂災害防止のための急傾斜地崩壊対策事業等の実施
 - 県において、河川改修事業の実施
- ② 早期復旧の取組
 - 日南市において、九州電力との防災協定締結

■全体取組項目数について【日南・串間地区】

延べ実施項目数(合計)／延べ全項目数(合計)

R1 : 106 / 121

＜主な取組内容＞		日南・串間地区			
		日南市	串間市	宮崎県	宮崎気象
概ね5年間で実施する取組 [平成29年度～33年度]	目標時期				
1. 円滑かつ迅速な避難のための取組					
① 情報伝達、避難計画等に関する取組	継続実施 順次実施	6	6	6	3
		6	6	6	3
② 住民の防災意識の向上に関する取組	継続実施 順次実施	6	6	8	2
		7	7	8	2
③ 地域の防災を担う人材の発掘・育成	継続実施	3	3	3	3
		3	3	3	3
④ 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組	継続実施 順次実施	5	6	4	
		6	6	5	
2. 的確な防災活動のための取組					
① 防災体制の強化に関する取組	継続実施 順次実施	2	4	2	
		4	4	4	
② 災害時に拠点となる施設の自衛防災	継続実施	3	3	2	
		3	3	3	
3. 被害の軽減・早期復旧に関する取組					
① 被害軽減の取組	継続実施	3	4	6	
		5	5	6	
② 早期復旧の取組	継続実施 順次実施	3	3	1	
		4	4	2	
注) 青色色箇所は取組実施数、無着色箇所は取組の設定数、「未」の表記は、未実施を示す。					
以下は、別添「日南・串間地区大規模氾濫減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表」より取組内容を抜粋したものである。					
1. ①について					
<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン及びホットラインの活用<日南市、串間市、宮崎県、気象台> ・土砂災害防止講座、学校での土砂災害防止教室、パネル展<宮崎県> ・HPにより洪水危険度分布情報等の提供、利用説明<気象台> 					
1. ②について					
<ul style="list-style-type: none"> ・県管理河川の対象河川全35河川想定最大浸水区域図を公表<宮崎県> ・洪水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップの改定等<日南市、串間市、宮崎県> ・避難訓練の実施<日南市、串間市、宮崎県> ・防災教育についての協議・防災講話の実施、パンフレット配布<気象台> 					
1. ③について					
<ul style="list-style-type: none"> ・防災士養成講座の実施<日南市、串間市>、防災士養成研修の実施<宮崎県>、同研修への講師派遣<気象台> ・自主防災組織の推進<日南市、串間市> 					
1. ④について					
<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の整備充実化<日南市、串間市> ・拠点避難所への自家発電設備の整備<串間市> ・避難所における備蓄強化<日南市、串間市> ・防災メールの登録推進<日南市、串間市、宮崎県> ・福祉避難所との協定締結<日南市、串間市> ・要配慮者の利用を想定した車椅子・簡易ベッドを避難所に設置<串間市> 					
2. ①について					
<ul style="list-style-type: none"> ・水防資材の備蓄確認、補充<日南市、串間市、宮崎県> ・水防訓練の実施<日南市、串間市、宮崎県> 					
2. ②について					
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の耐震化、非常用設備の整備<日南市、串間市、宮崎県> ・自主防災マニュアルの策定推進<日南市、串間市、宮崎県> ・BCPや災害事業に応じた各種防災対策計画の策定<日南市> 					
3. ①について					
<ul style="list-style-type: none"> ・樋門などの施設点検の実施<日南市、串間市、宮崎県> ・急傾斜地崩壊対策事業等を実施<日南市、串間市、宮崎県> ・河川改修事業の実施<宮崎県> 					
3. ②について					
<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度計画やライフライン確保のための検討<日南市、串間市> ・九州電力との防災協定締結<日南市> 					

○日南・串間地区大規模氾濫減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2020/3/31時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			令和元年度		宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
			日南市	串間市		
(1) ① 情報伝達、避難計画等に関する事項						
[1]	・ホットラインの実施、改善	継続 実施	5/19~5/20 広瀬川・酒谷川 氾濫危険水位超過、土砂災害(酒谷) 7/1 広瀬川 避難判断水位超過 7/2~7/4 酒谷川・広瀬川 氾濫危険水位超過、土砂災害(日南市)	土砂災害警戒情報 R1.5.20(1回)、R1.7.3(2回) R1.5.19.20(本城川 避難判断水位超過・氾濫危険水位超過) R1.5.20(市木川 避難判断水位超過・氾濫危険水位超過) R1.7.3(本城川 避難判断水位超過・氾濫危険水位超過)	【土砂災害に関するホットライン】 <日南土木>R1.5.20(1回)、7.3(2回) <串間土木>R1.5.20(1回)、7.3(2回) 【水害に関するホットライン】 <日南土木>R1.5.20(3回)7.1(2回)、7.3(3回) <串間土木>R1.5.19(1回)、5.20(3回)、7.3(2回)	土砂災害警戒情報や大雨警報発表時など災害のおそれがある場合などに気象台と県、各市町村間のホットラインが適宜実施されている。 気象台長から首長へ非常時に備えた訓練のホットラインを実施した。
[2]	・タイムラインの活用、改善	継続 実施	土砂災害に関するタイムライン・水害に関するタイムラインを活用 5/19 大雨対応 7/1~4 大雨対応 7/5 台風8号対応 8/14 台風14号対応	5月19~20日大雨 水位超過、土砂災害 6月30~7月4日大雨 水位超過、土砂災害 台風8号 水位超過、土砂災害	【土砂災害に関するタイムライン】 【水害に関するタイムライン】 台風時などに運用 令和元年の出水期には、タイムラインに基づくホットラインを(土木事務所から市町村へ水害・土砂災害の危険度を伝達)計29回(水害)、計56回(土砂災害)実施	進捗:継続
[3]	・様々な方法を活用した災害危険性の周知	継続 実施			進捗:継続 【土砂災害防止講座】(県内:令和元年5月~12月) 地区住民:構成市町村内7市町にて実施、自治会長・構成市町村内2町にて実施 【防災の日フェア】(令和元年5月26日) パネル展示、映像紹介、チラシ配布 【メディア】(令和元年6月) テレビ、ラジオ 【パネル展】(令和元年6月) 県庁本館・1号館、県立図書館 <日南土木> 【土砂災害防止講座】(令和元年6月) 地区住民:南平地区 【土砂災害防止パネル展】(令和元年6月) 総合庁舎玄関 【土砂災害防止教室】(令和元年6月) 市内4小学校 【土砂災害防止説明会】(令和2年1月~2月) 5地区(公民館等) <串間土木> 【土砂災害防止講座】(令和元年5月) 【土砂災害防止教室】(令和元年6月) 市内1小学校 【土砂災害防止説明会】(令和元年12月) 5地区(公民館等)	気象庁ホームページで、大雨警報(土砂災害)、大雨警報(浸水害)及び洪水警報の危険度分布を提供している。 また、気象講話、防災会議、気象防災ワークショップなどで危険度分布などの気象情報の活用について周知を行った。
[4]	・ICTを活用した災害情報の提供	継続 実施			進捗:継続 ・防災メールで県民向けに雨量や水位等の防災情報を提供 ・県総合河川砂防情報システム(土砂災害危険度情報システムを含む)等により、災害の危険性等の情報をリアルタイムで提供。	進捗:継続 スマートフォン向けホームページで、大雨警報(土砂災害)、大雨警報(浸水害)及び洪水警報の危険度分布を提供し、利活用促進に関する周知や普及啓発を行った。
[5]	・隣接市町村等における避難所の設定(広域避難体制の構築)	平成30年度から 順次実施	宮崎県南部地域大規模災害対策連携推進協議会の枠組みによる広域支援体制の構築を検討。	宮崎県南部地域大規模対策連携推進協議会において、広域避難体制の構築、検討を継続している。		進捗:継続
[6]	・浸水想定区域又は土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の市町村地域防災計画における適切な指定	平成29年度から 順次実施	令和2年2月に日南市地域防災計画において要配慮者利用施設66施設を指定	平成31年2月に地域防災計画を改定して、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設は指定した。 浸水想定区域内にある要配慮者利用施設については、本年度に指定予定。	令和元年7月までに、県管理河川の対象河川全35河川の想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済 【串間土木】 土砂災害警戒区域等の指定状況95%(R2.5現在)	進捗:継続
[7]	・要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の推進	平成29年度から 順次実施	9月3日 防災研修の実施 「要配慮者利用施設における避難確保計画について」 福祉サービス事業者22施設28名参加 現在20施設作成済み	避難確保計画については、指定に伴い作成を推進している。 避難訓練については、一部の要配慮者利用施設と連携して実施し推進を図っている。	進捗:継続 令和元年8月業務会議で各市町村担当者向けに要配慮者利用施設の避難確保計画の作成にあつた説明会を実施。 市内1小学校	進捗:継続
[8]	・地域防災計画における避難勧告等発令基準の妥当性の検討	継続 実施	災害情報などの発令後、随時、検討	地域防災計画における避難勧告等の発令基準については、内閣府の避難勧告ガイドラインを基に検討を行い反映を図っており、妥当性について検討を継続していく。	進捗:継続	進捗:継続
[9]	【自由記入欄】上記以外の実施事項		進捗:継続	進捗:継続		
(1) ② 住民の防災意識の向上に関する取組						
[10]	・想定最大規模の降雨に係る浸水想定区域の指定	継続 実施			令和元年7月までに、県管理河川の対象河川全35河川の想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済	進捗:継続
[11]	・浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の周知促進	継続 実施			県HPにおいて、土砂災害警戒区域等を周知。また、土砂災害防止講座等においても情報等の提供について周知。	進捗:継続
[12]	・洪水ハザードマップの作成、改訂、周知、支援	継続 実施	令和元年度を目標に土砂ハザードマップの改訂を実施済み 令和2年度、全戸配布HP掲載予定	令和元年に改定済み。今年度全戸配布。	ハザードマップの基礎となる想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域の見直しについて、県管理河川の対象河川全35河川の想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済	進捗:継続
[13]	・土砂災害ハザードマップの作成、周知、支援	~平成33年度	令和元年度を目標に土砂ハザードマップの改訂を実施済み 令和2年度、全戸配布HP掲載予定	令和元年に改定済み。今年度全戸配布。	県内市町村の担当者参加のもと、土砂災害ハザードマップの作成勉強会を開催し、作成の支援施策やわかりやすく利用しやすいハザードマップの作成等について意見交換を実施。	進捗:継続
[14]	・まるごとまちハザードマップやマイハザードマップの取組	平成30年度から 順次実施			令和元年12月15日に都城市にてマイハザードマップ作成支援を実施 次年度においても引き続き、作成支援及び事例集を作成予定 ・令和元年10月10日に、河川課・日南土木事務所・串間土木事務所・日南市・串間市で、ハザードマップの勉強会を実施。	進捗:継続
			進捗:未実施	進捗:未実施		進捗:継続

○日南・串間地区大規模氾濫減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2020/3/31時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			令和元年度		宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
			日南市	串間市		
[15]	・過去災害実績等の周知	継続 実施	過去の災害履歴について (HPIに掲載(地域防災計画に記載))	防災講話等により周知に取り組み、継続 していく。	【土砂災害防止講座】(県内:令和元年5月~12月) 地区住民:構成市町村内7市町にて実施、自治会長:構 成市町村内2町にて実施 【防災の日フェア】(令和元年5月26日) パネル展示、映像紹介、チラシ配布 【メディア】(令和元年6月) テレビ、ラジオ 【パネル展】(令和元年6月) 県庁本館・1号館、県立図書館 <日南土木> 【土砂災害防止講座】(令和元年6月) 地区住民:南平地区 【土砂災害防止パネル展】(令和元年6月) 総合庁舎玄関 【土砂災害防止教室】(令和元年6月) 市内4小学校 【土砂災害防止法説明会】(令和2年1月~2月) 5地区(公民館等) <串間土木> 【土砂災害防止講座】(令和元年5月) 【土砂災害防止教室】(令和元年6月) 市内1小学校 【土砂災害防止法説明会】(令和元年12月) 5地区(公民館等)	
[16]	・住民参加型の防災訓練や共同点検出前講座の拡 大	継続 実施	自治会(自主防災組織)を中心とした取組 を推進するとともに防災講話を各種団体に 対して実施している。 R1.6.9 土砂災害訓練(1自治会対象)	住民参加型の訓練・講演を実施。 R1.5.26 土砂災害訓練(7自治会対象) R1.11.17 串間市総合防災訓練 訓練(8自治会対象) H30.1.21 防災講演会	<串間土木> 5/26串間市土砂災害等訓練に合わせて実施	
[17]	・教育機関と連携した防災教育の促進	継続 実施	小中学校・高校・専門学校など市内の教育 機関と連携した避難訓練などの実施。	平成30年度から福島高校と連携し防災教育 を実施しており、防災教育の促進を継続して いる。 市内2か所の小学校と連携した防災教育を 実施。		宮崎県の学校安全総合支援事業の会議で防災 教育の協議を行い、この取り組みの一環で地震津 波に関して防災講話を実施した。
[18]	・あらゆる媒体を活用した地域住民の防災意識啓 発のための広報の充実	継続 実施	各種防災講話や市報などを活用した啓発、 広報の実施	市広報誌や公式ホームページを活用した啓 発活動の実施。	【土砂災害防止講座】(県内:令和元年5月~12月) 地区住民:構成市町村内7市町にて実施、自治会長:構 成市町村内2町にて実施 【防災の日フェア】(令和元年5月26日) パネル展示、映像紹介、チラシ配布 【メディア】(令和元年6月) テレビ、ラジオ 【パネル展】(令和元年6月) 県庁本館・1号館、県立図書館 <日南土木> 【土砂災害防止講座】(令和元年6月) 地区住民:南平地区 【土砂災害防止パネル展】(令和元年6月) 総合庁舎玄関 【土砂災害防止教室】(令和元年6月) 市内4小学校 【土砂災害防止法説明会】(令和2年1月~2月) 5地区(公民館等) <串間土木> 【土砂災害防止講座】(令和元年5月) 【土砂災害防止教室】(令和元年6月) 市内1小学校 【土砂災害防止法説明会】(令和元年12月) 5地区(公民館等)	パンフレット、リーフレットの配布による周知広報 を行った。
[19]	【自由記入欄】上記以外の実施事項		進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続
(1) ③	地域の防災を担う人材の発掘・育成					
[20]	・防災士の登録拡大を推進	継続 実施	広報誌やポスターの掲示による住民への 防災士養成講座の周知	R1.8.17 防災士養成講座の開催。 令和2年度についても開催予定であり、市の 防災士資格取得助成事業の活用を推進し登 録拡大を継続している。	地域の防災リーダーとして防災士養成研修を実施して いる。	県からの委託を受け防災士ネットワークが実施 する防災士養成研修において、講師派遣等の協 力をを行い、受講環境の整備を行った。
[21]	・関係機関と連携した水防訓練、連絡体制、情報共 有の強化	継続 実施	関係機関と連携した取り組み。 水防訓練 R1.6.9 土砂災害訓練(1自治会対象) 連絡体制 R1.6.9 土砂災害訓練(県・市)	関係機関と連携した取り組み。 水防訓練 R1.5.26 土砂災害訓練(7自治会対象) 連絡体制 R1.5.26 土砂災害伝達訓練(県・市) 情報共有 R1.6.18 市内危険箇所調査	令和元年11月10日 総合防災訓練 <主催:宮崎県、高原町>(一般住民の参加、陸・空にわ たる実践的な訓練を実施。) 内容:陸:道路啓開ほか 空:ヘリによる情報収集・映像伝送訓練ほか 11月 宮崎県総合防災訓練(高原町) 11月 みやざきシエイクアウト訓練 <日南土木> 令和元年6月に、構成市と自治体職員や消防、警察等が 参加した避難訓練(情報伝達訓練)を実施。 同7月に、日南土木事務所と建設業協会等と土のう積み等 の実働訓練を実施。 <串間土木> 5/26串間市土砂災害等訓練に合わせて実施	令和元年6月 日南市土砂災害避難訓練及び水 防訓練に参加した。
[22]	・自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強 化、河川協力団体との連携	継続 実施	自治会による自主防災組織の組織化の推 進	自主防災組織、水防団(消防団)、防災士な ど防災訓練や地域での訓練を通して育成・強 化、連携を図っている。	地域や学校、企業の防災訓練や研修会に防災士を講師と して派遣している。 小学校等の社会見学(県庁見学)において防災講話を 実施している。	県内各市町村地区主催の出前講座で防災学習等 の啓発活動を実施。
[23]	【自由記入欄】上記以外の実施事項		進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続

○日南・串間地区大規模氾濫減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2020/3/31時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			令和元年度		宮崎県	
			日南市	串間市	宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
(1)	(4) 内滞かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組					
[24]	・河川監視カメラ配置計画の再検討	平成30年度から順次実施			危機管理型水位計の設置 簡易型河川監視カメラの設置 ＜日南土木＞ 簡易型河川監視カメラの設置検討(8基) ＜串間土木＞ 令和2年度に本城川、市木川、天神川に簡易型河川監視カメラの設置予定 進捗:継続	
[25]	・安定した雨量・水位情報等を提供できるよう観測局等の機能向上及び適切な維持管理等	継続実施			交付金等を活用し、観測局等を含むテレメータ観測システムの適切な維持管理を実施。 ＜日南土木＞ 危機管理型水位計の設置(1基設置済/7基) ＜串間土木＞ 令和2年度に危機管理型水位計設置予定(1基) 進捗:継続	
[26]	・防災行政無線を利用した情報伝達手段の整備	継続実施	日南市デジタル防災行政無線整備事業の実施(令和元年度～令和2年度)	平成17年度 親局1基・中継局3基・子局38基 平成26年度 子局31基 平成27年度 中継局1基・子局39基 平成28年度 子局10基 以上を整備している。 進捗:継続		
[27]	・防災ステーション、避難所等の防災拠点、アクセス路の整備	平成30年度から順次実施		重要避難所として拠点となる6施設指定し、自家発電設備を整備。 進捗:継続	県庁防災拠点庁舎の整備を推進 進捗:継続	
[28]	・浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難所の確保	継続実施	孤立が予想される地域の対応マニュアルの検討	災害による途絶を考慮し避難所確保のため民間企業と一時避難所として利用できるよう協定を締結。 進捗:継続		
[29]	・浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	継続実施	孤立が予想される地域の自治公民館などへの分散備蓄の実施 トイレ袋、防災マット、毛布、液体ミルクなどを備蓄。 進捗:継続	簡易トイレ、間仕切り、防災マット、簡易テント、毛布など備蓄強化。 進捗:継続		
[30]	・要配慮者の利用を想定した避難所等の整備	平成30年度から順次実施	現在、福祉避難所の協定(9事業所)	要配慮者の利用を想定し、車椅子・簡易ベッドを避難所に整備。 福祉避難所の協定(7施設) 進捗:継続		
[31]	・防災メールへの登録促進	継続実施	自治会長会や各種防災講話での登録の推進	市公式ホームページに掲載しており、登録促進を継続。 進捗:継続	県庁ホームページにおいて、宮崎県防災・防犯情報メールサービスの登録ページを設置し、登録を促進 進捗:未実施	
[32]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(2)	(1) 防災体制の強化に関する取組					
[33]	・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	継続実施	出水期前に水防資機材の点検・補充	重要水防箇所の見直しについては、今後も県と連携していく。 水防資機材について確認を実施継続していく。 進捗:継続	＜日南土木＞ ＜串間土木＞ 重要水防箇所:平成29年度に見直し済み 水防資機材:毎年出水期前に確認 進捗:継続	
[34]	・水防団等の確保に関する取組を推進	継続実施		水防団の確保に関する取り組みは継続して実施している。 進捗:未実施		
[35]	・水防訓練、避難訓練の充実	継続実施	毎年、水防訓練を実施し避難訓練及び情報伝達訓練も同時に実施している。(R1.6.9実施)	水防団(消防団)とは、定期的な訓練を実施している。 令和2年6月に訓練実施予定。 進捗:継続	【防災訓練】 県内は令和元年5月～令和2年2月の期間にて県内28市町村にて実施 ＜日南・串間＞ ・令和元年6月に、構成市と自治体職員や消防、警察等が参加した避難訓練(情報伝達訓練)を実施。 ・令和2年1月に、気象防災ワークショップが開催され、日 進捗:継続	
[36]	・水防団間での連携協力に関する検討	継続実施		水防団(消防団)間での連携は図れている。 進捗:継続		
[37]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(2)	(2) 災害時に拠点となる施設の自衛防災					
[38]	・施設関係者への情報伝達の充実	継続実施	日南市の防災気象メールや職員メールにより、情報の提供及び共有化	電話やメールでの情報伝達の充実を図っており継続していく。 進捗:継続		
[39]	・施設の耐水化、耐震化、非常用発電等の整備を促進	継続実施	施設の耐震化率 98.01%	拠点となる公共施設は耐震化となっており、市役所、消防庁舎に自家発電設備が整備されている。平成29年度に拠点となる重要避難所に非常用発電設備を整備。 進捗:継続	＜串間土木＞ H29非常用水源設備改修済 進捗:継続	
[40]	・自衛防災マニュアル整備の促進	継続実施	BCPや災害事象に応じた各種防災対策計画の策定	整備されていない施設については整備促進を継続していく。 進捗:継続	自衛防災マニュアル作成の基礎となる想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域の見直しについて、県内の対象河川35河川全て公表済み 進捗:継続	
[41]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					

○日南・串間地区大規模氾濫減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2020/3/31時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			令和元年度		宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
			日南市	串間市		
(3) ① 被害軽減の取組						
[42]	・樋門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証	継続実施	操作検証は毎年実施している	操作検証は毎年実施している。	<日南土木> ・毎年出水期前に日南市と合同で点検を実施 <串間土木> ・毎年出水期前に串間市と合同で点検を実施 ・津波遡上区間のゲート自動閉鎖化を2基完了	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[43]	・樋門など既存施設の適切な維持管理	継続実施	毎月、担当水防団員が点検・操作を実施	適正な維持管理のため操作点検(4月22・24日)を実施。	<日南土木> ・毎年点検を実施している <串間土木> ・毎年点検を実施及び対策済み	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[44]	・災害危険区域等の指定推進	継続実施		災害危険区域等の指定に向け、県と連携しての土砂災害防止法の指定に伴う説明会を実施。 12月16日 船・築島 12月18日 片野 12月20日 中福良・大藤・木や藤 12月23日 迫・宮原・宮ノ浦・岬	・水害危険区域の指定にあたって参考となる、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域作成の検討について、県内の対象河川35河川全て公表済み	
			進捗:未実施	進捗:継続	進捗:継続	
[45]	・浸水被害軽減地区の指定	継続実施			・浸水被害軽減地区の指定にあたって基礎資料となる、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域作成の検討について、県内の対象河川35河川全て公表済み	
			進捗:未実施	進捗:未実施	進捗:継続	
[46]	・総合流域防災計画に基づく確実な施設整備を推進すると共に適切な維持管理に努める	継続実施			河川改修事業等を実施	
					進捗:継続	
[47]	・土砂災害から住民を守る施設の整備を行う	継続実施	H29 細田地区西寺区 H30 細田地区西寺区 南郷地区賀波区	急傾斜地崩壊防止対策事業に該当するものについて工事を継続している。	構成市町村内地区において、砂防事業(11地区)や急傾斜地崩壊対策事業(14地区)を実施	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[48]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(3) ② 早期復旧の取組						
[49]	・氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定	継続実施		計画については策定されていない。検討・策定を継続していく。		
			進捗:未実施	進捗:未実施	進捗:未実施	
[50]	・水防資機材の保有状況の確認、見直し	継続実施			<日南土木> 5/30開催の日南地区防災会議において、関係機関で情報を共有した <串間土木> 毎年出水期前に確認	
					進捗:継続	
[51]	・ライフラインを確保するための復旧優先施設の検討	継続実施	公共施設を中心に防災拠点施設から復旧を図る。 九州電力との協定の締結	燃料の確保については優先施設を決めており、その他のライフラインについては検討を継続していく。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[52]	・被災内容を考慮し、復旧の優先度や支援団体の配置を指揮・調整できる復旧対策指揮体制を構築	継続実施	現時点では、地域防災計画、BCPIによる。	災害時の拠点となる串間市総合運動公園内に支援団体の配置計画を作成している。体制構築のため継続していく。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[53]	・受援計画の策定	平成30年度から順次実施	平成29年度に業務継続計画を補充する目的で受援計画を策定した。 今後も随時、見直しを行うこととしている。	令和元年度に策定。今後も随時、見直しを行うこととしている。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[54]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					